

山形県森林研究研修センター要覧

令和8年4月



山形県森林研究研修センター
〒991-0041

山形県寒河江市大字寒河江丙 2707

電話：(0237) 84-4301

FAX：(0237) 86-9377

過去の研究成果等はセンターホームページへ
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/142003/>



1 組織

◆総務課

センター施設の維持管理・運営等に関する業務の実施

◆研究部門

・研究企画部

試験研究の企画、予算の調整、研究情報の発信等の実施

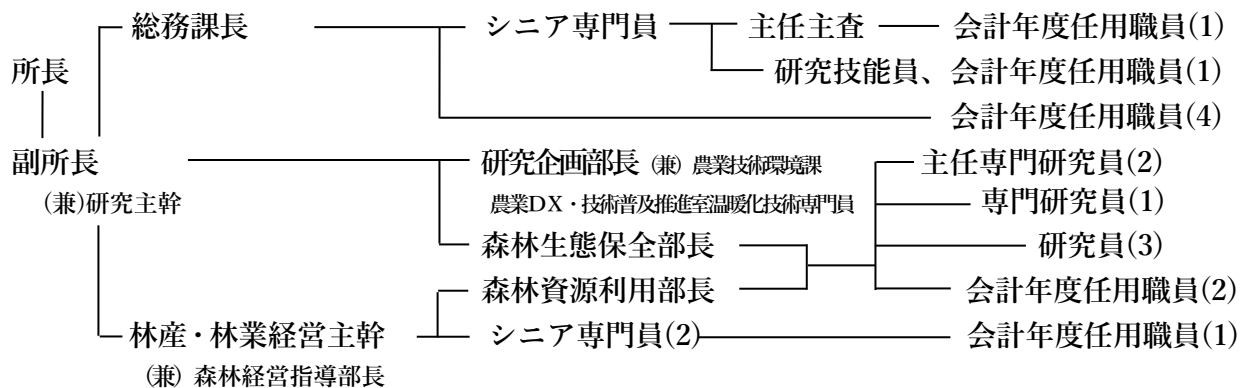
・森林生態保全部・森林資源利用部

森林の育成、病虫害防除、県産木材の利用拡大、特用林産物の栽培・増殖林木育種等に関する試験研究・調査等の実施

◆普及部門

・森林経営指導部

森林・林業技術の普及、林業後継者等の育成、各種研修等の実施



★職員数

事務職員	技術職員	技能労務職員	会計年度任用職員	合計
3 人	1 4 人	1 人	9 人	2 7 人

2 沿革

昭和 33 年 7 月	山形県林業指導所発足
昭和 37 年 4 月	山形県薬用植物園併設
昭和 48 年 4 月	山形県立林業試験場発足（山形県林業指導所廃止）
昭和 50 年 3 月	林業試験場試験実習林を設定
昭和 53 年 3 月	林業試験場研修館竣工
昭和 59 年 9 月	林業試験場本館竣工
昭和 61 年 4 月	山形県林木育種場を統合
平成 10 年 4 月	山形県森林研究研修センターに改称
平成 15 年 4 月	森林課(現：森林ノミクス推進課)から普及指導部門を移設
平成 20 年 3 月	山形県薬用植物園廃止

3 施設

(1) 本場 (4.3ha) 寒河江市大字寒河江

- ・本館 ・研修館 ・林業機械実習棟 ・木材加工実験棟 ・きのこ研究棟
- ・生物工学実験棟 ・木材乾燥実験棟 ・車庫 ・昆虫飼育舎 ・温室 ・ミストハウス
- ・鉄骨ビニール温室

(2) 林木育種園 (31.2ha) 鶴岡市羽黒町手向

(3) 試験実習林 (59.6ha) 西村山郡西川町大字沼山

4 試験研究（森林生態保全部・森林資源利用部・研究企画部）

『やまがた森林（モリ）ノミクス』※を発展、加速させていくため、5つの研究開発の方向性に沿ったさまざまな試験研究を実施しています。

- ① 林業の発展を支える本県オリジナル品種の開発
- ② 産業の構造・生産基盤の変化に対応した林業者の収入向上・経営安定を目指す技術の開発
- ③ 社会・経済環境の変化に対応して競争力強化を実現する新たな価値を創出する技術の開発
- ④ 自然環境の変化に対応し、SDGsに寄与する技術の開発
- ⑤ 先端技術を活用した先導的技術・手法の開発

※「やまがた森林ノミクス」とは

先人から受け継いだ山形県の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として余すところなく活用し、林業の振興や雇用の創出を図り、地域活性化を推進する取組みのことです。



① 林業の発展を支える本県オリジナル品種の開発

◇ 林木等の優良品種の開発

- 特定母樹等緊急育成事業（県単：H25～）
 - ・ 成長や材質に優れ花粉症に有効な「特定母樹」や、積雪地で格段に初期成長が優れたスギ品種等を開発する。

◇ きのか・山菜等の優良種苗と生産技術の開発

- 生産現場に適したきのか系統の選抜（県単：R4～R8）
 - ・ 県内きのか生産現場の多様な条件に合わせて、栽培しやすい優良きのか系統を選抜する。
- 優良種苗等普及保全部事業（県単：H25～）
 - ・ 優良きのか種苗のための継代培養や栽培適応調査を行う。
- 山の幸振興対策支援事業（県単：H27～）
 - ・ きのかアドバイザーと連携して、きのか生産者への技術指導を行う。



スギ特定母樹の選抜

② 産業の構造・生産基盤の変化に対応した林業者の収入向上・経営安定を目指す技術の開発

◇ 低コストで生産性の高い林業技術の開発

- 休耕田を活用した造林苗木の育成技術の開発（受託：R5～R9）
 - ・ コンテナ苗の休耕田を活用した水耕栽培の実証を行う。
- 特定母樹等スギ種子増産事業（県単：H29～）
 - ・ 今後の造林需要に応えるため、スギ新品種（特定母樹）ミニチュア採種園の造成を行う。
- 抵抗性クロマツ種子緊急増産事業（県単：R8～）【新規】
 - ・ 松くい虫被害の急激な増加により、緊急的に抵抗性クロマツ種子の増産を図る。
- 森林情報のデジタル化調査（国庫交付金：R8～R10）【新規】
 - ・ 林業の効率化や省力化のため、最新の航空レーザ測量データを活用して、森林情報の精度向上とデジタル化を図る。



スギ特定母樹閉鎖型採種園



抵抗性クロマツ

③ 社会・経済環境の変化に対応して競争力強化を実現する新たな価値を創出する技術の開発

◇県産木材や特用林産物の価値向上技術の開発

- 県産広葉樹材の流通拡大に向けた生産システム調査
(国庫交付金：R8～R10)【新規】
 - ・県産広葉樹材の用材分野（製材、木材加工）への流通拡大を目指した素材生産システムの調査を行う。
- 山菜（ワラビ、ネマガリダケ）の鮮度保持技術の開発
(県単：R6～R8)
 - ・生出荷の販路拡大を図るため、鮮度低下の特性を明らかにし、鮮度保持技術を確立する。
- 代替肉原料のための効率的なきのこ菌糸体培養技術の確立
(受託：R5～R8)
 - ・きのこの菌糸体を代替肉の原料にするため、きのこ菌糸を効率的に大量増殖できる品目の選定と培養技術を開発する。



原木市場の広葉樹



きのこ菌糸体培養状況

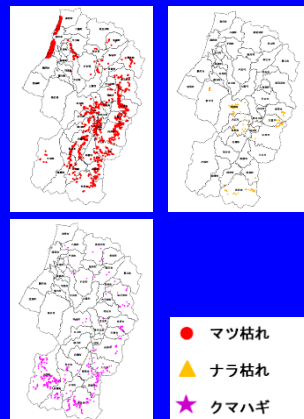
④ 自然環境の変化に対応し、SDGs に寄与する技術の開発

◇安全な生活環境を形成する森林育成技術の開発

- 庄内海岸クロマツ林（耕地防風林）の樹種転換技術の開発
(県単：R8～R10)【新規】
 - ・クロマツ耕地防風林における、クロマツのみに頼らない樹種転換技術を開発する。
- 被害拡大防止に向けた森林病虫獣害調査
(国庫交付金：R6～R10)
 - ・県内で発生する森林病虫獣害の実態調査と、ICT を活用した効率的な被害把握の調査手法を開発する。
- 森林生態系保全モニタリング事業（県単：H29～）
 - ・自然公園を含む森林での大規模な森林被害のモニタリングを行う。
- 無人ヘリコプターによる松くい虫予防散布生物影響調査
(国庫補助金：H22～)
 - ・散布した薬剤の鳥類、昆虫類、土壌動物類に対する影響調査を行う。
- 獣害忌避剤の適用拡大に向けた基礎試験（受託：R8）【新規】
 - ・塗布忌避剤によるニホンノウサギの新植苗食害に対する防除実証試験を行う。
- 荒廃森林モニタリング調査（県単：H29～）
 - ・適切に手入れされていなかった森林において、整備後の植生変化等のモニタリングを行う。
- マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業（県単：H7～）
 - ・接種検定による抵抗性クロマツの選抜と種苗生産を行う。



庄内海岸林の広葉樹植栽試験



R7 森林病虫獣害被害状況



散布薬剤の影響調査



クロマツの接種検定

◇地球温暖化防止に貢献する未利用資源の活用技術の開発

- ユリノキ等の早生樹における造林初期の成育特性の解明
(県単：地球温暖化対応プロジェクト：R7～R11)
 - ・ ユリノキ等の早生樹種の多雪寒冷地における成長特性を明らかにする。

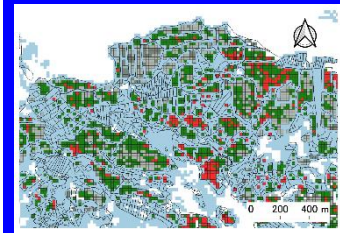


早生樹試験地の造成

⑤ 先端技術を活用した先導的技術・手法の開発

◇低コストで生産性の高い林業技術の開発

- 森林情報のデジタル化調査（国庫交付金：R8～R10）【再掲】
 - ・ 林業の効率化や省力化のため、最新の航空レーザ測量データを活用して、森林情報の精度向上とデジタル化を図る。
- 被害拡大防止に向けた森林病虫獣害調査
(国庫交付金：R6～R10) 【再掲】
 - ・ 県内で発生する森林病虫獣害の実態調査と、ICT を活用した効率的な被害把握の調査手法を開発する。



スギ林の地域評価マップ

令和 8 年度研究開発課題の事業区分別課題数 21*課題

- ▽ 試験研究費 11 課題（県単独事業：3 課題、国庫事業：5*課題、受託試験：3 課題）
 - ▽ 林木育種関係 4 課題
 - ▽ 行政との連携課題 6 課題
- (※:再掲 2 課題を含む)



【ドローンを活用した森林被害モニタリング調査】



【スギ特定母樹の開鎖型採種園（鉄骨ビニール温室）】

5 技術普及・人材育成・研修（森林経営指導部）

『やまがた森林（モリ）ノミクス』の発展、加速化に向けて、森林資源を上手に利用しながら、健全で多面的機能の高い森林の整備につなげる「使う林業」を進めるため、森林・林業技術の普及、林業経営を担う人材の育成、各種技術研修、森林経営の指導及び試験研究情報の収集・提供を行っています。

① 技術普及

◇ 林業技術者等活動促進

➤ 林業技術現地適応化（国庫）

- ・ スギ低密度植栽における雪害等の影響調査と低密度植栽に適した現場条件を明らかにする。

➤ 技術情報誌等の作成・配布（国庫）

- ・ 研究部門の技術成果を基にした、森林・林業技術の手引き書や林業普及指導員の普及活動事例集等を作成・配布する。



低密度植栽の雪害等影響調査



手引き書・事例集

② 人材育成

◇ 林業経営者支援

➤ 山形県林業士（指導・青年）養成研修（県単）

- ・ 地域林業の中核となる林業士の新たな認定者を養成するため、林業技術や林業経営の向上・改善の研修を実施する。

➤ 青年林業士スキルアップ研修（県単）

- ・ 地域林業の次世代リーダーとしての青年林業士の資質向上を図るため、県産木材の安定供給や再造林・木材利用促進等の研修、農林大学校林業経営学科学生との意見交換等を実施する。

➤ 山形県指導林家・林業士等研修（県単）

- ・ 地域林業の模範・指導者である指導林家・指導林業士等の林業技術向上と林業経営改善等を図る研修を実施する。

➤ 林業技術者技術向上研修（森林作業道作設編）（国庫）

- ・ 林業経営体職員を対象に、簡易で丈夫な森林作業道を作設できる技術者を養成する研修を実施する。

➤ 林業技術者技術向上研修（ICT技術編・林業機械編）（国庫）

- ・ 森林施業プランナーや林業経営体職員等を対象に、ICT技術を用いた森林作業システムの構築や、高性能林業機械の操作技術の習得に関する研修を実施する。



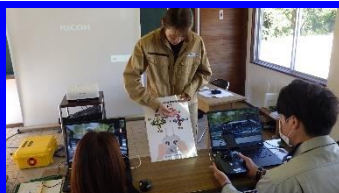
林業士認定証交付式



青年林業士スキルアップ研修



指導林家等研修



林業技術者技術向上研修



林業技術者技術向上研修



森林作業道作設技術者養成研修

③ 各種研修

◇ 森林技術職員スキルアップ研修

➤) スマート林業（基礎編・応用編）研修（県単）

- ・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、ICT 技術の基礎知識や森林資源調査、路網作設技術等の習得に効果的なカリキュラムを活用し、スマート林業を推進するための研修を実施する。



スマート林業研修

➤ 森林技術職員技術研修（県単）

- ・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、林野行政の円滑な業務を行うため、伐木造材作業者特別教育や刈払機取扱作業者安全衛生教育のほか、基礎的な知識・技術を学ぶ研修を実施する。



森林技術職員技術研修

➤ 森林技術職員技術研修（国庫）

- ・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、特用林産や林業経営に関連する各分野の技術向上のための研修を実施する。



森林技術職員技術研修

➤ 緑の雇用集合研修（依頼）

- ・林業経営体職員（フォレストワーカー・リーダー）を対象に、森林施業に関する知識・技術の習得のための研修を実施する。



緑の雇用集合研修



緑の雇用集合研修



森林技術職員基礎研修



【研修館（寒河江市）】

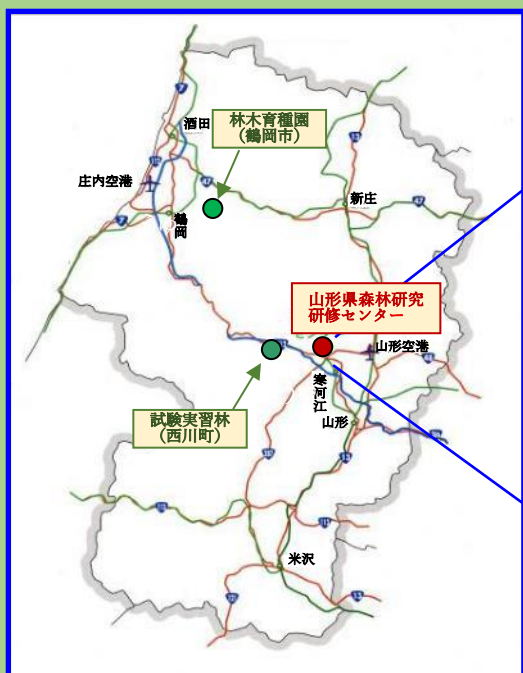


【大沼と試験実習林（西川町）】



【林木育種園（鶴岡市羽黒町）】

【案内図】



【構内図】

